

タイ王国向け 中晩かん検査

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA

伊勢は2月中旬、御浜町にある同JAの統一選果場で、タイ王国に輸出する中晩かん「不知火」「せとか」の輸出検査と出荷作業を行

った。

輸出したのは、同JA三重南紀管内にある御浜町と紀宝町の園地

で収穫した「不知火」2ト、「せとか」4・5トの計6・5ト。農水省の植物防疫検



「不知火」を入念に検査する検査官

査官が、無作為に選んだ果実に病害虫や小さな傷などがないかを入念に検査した。県やJAの職員が立ち会った。

合格した「不知火」と「せとか」は、取引先商社に引き渡した後、東京と名古屋から海路で輸出。販売単価は、国内相場の約3倍に相当する1キログラムあたり3000円前後を見込む。タイ国内の富裕層をターゲットに、大手百貨店や量販店で販売される。

同JA三重南紀経済センター事務集中グループの下川顕児職務代理は「本年度産は、天候に恵まれて、仕上がりは良好。現地の消費者に、日本産かんきつのおいしさをPRしていきたい。生産者所得の向上を目指して、輸出品の拡大に取り組んでいきたい」と話した。